

平成 18 年 11 月 9 日

各 位

香 川 県 高 松 市 鍛 冶 屋 町 7 番 地 1 2  
穴 吹 興 産 株 式 会 社  
代 表 取 締 役 社 長 穴 吹 忠 嗣  
(コード番号 8928 大証第一部)  
問 い 合 わ せ 先 専 務 取 締 役 富 岡 徹 也  
管 理 本 部 長  
電 話 番 号 0 8 7 ( 8 2 2 ) 3 5 6 7

### **当社子会社（株式会社クリアナブキ）における業績予想の修正のお知らせ**

当社子会社の株式会社クリアナブキでは、平成 18 年 5 月 19 日に公表しました平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の業績予想について、別紙のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、この修正を含めた当社の連結業績予想につきましては、適時開示の必要性が生じた際に、あらためてお知らせいたします。

以 上



平成 18 年 11 月 9 日

各 位

会社名 株式会社 クリエアナブキ  
代表者名 代表取締役社長 藏 田 徹  
(JASDAQ・コード番号 4336)  
問合せ先 取締役管理本部長 山之内 茂  
TEL. 087-822-8898(代表)

平成 19 年 3 月期中間（連結・単独）業績予想との差異及び  
通期（連結・単独）業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年3月期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の業績予想について、平成18年5月19日付当社「連結決算の開始及び平成19年3月期の連結業績予想について」及び同日付当社「平成18年3月期決算短信（非連結）」にて発表いたしました業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	3,779	2	△22
今回修正 (B)	3,736	116	58
増減額 (B-A)	△43	+114	+80
増減率	△1.1%	+570.0%	-

(2) 通 期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	8,118	119	20
今回修正 (B)	7,810	135	34
増減額 (B-A)	△308	+16	+14
増減率	△3.8%	+13.4%	+70.0%

(3) 修正理由

① 中間期（連結）業績予想について

売上面では、主に「2. 平成 19 年 3 月期 単独業績予想の修正等 (3) 修正理由 ① 中間期（単独）業績予想について」に記載した理由により、期初予想の数値にわずかに届きませんでした。

利益面では、「2. 平成19年3月期 単独業績予想の修正等 (3) 修正理由 ① 中間期 (単独) 業績予想について」に記載した理由に加え、平成18年4月に株式を取得 (子会社化) した株式会社A I C O Nについて、同社のみなし取得日を同年6月30日 (同社の中間決算期日) とした結果、韓国人IT技術者の派遣事業を同年5月から本格的に開始したばかりの同社にかかる損失額を連結上取り込まないこととなったため、期初予想を大きく上回る業績となる見込みです。

② 通期 (連結) 業績予想について

各項目において、「2. 平成19年3月期 単独業績予想の修正等 (3) 修正理由 ② 通期 (単独) 業績予想について」に記載した理由による修正、及び連結子会社である株式会社A I C O Nの足元の業績を反映した修正を加えました。

(4) ご参考：前期の実績 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)

当社は、平成19年3月期より連結財務諸表を作成しておりますので、前期の実績はありません。

2. 平成19年3月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期 (平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	3,734	51	26
今回修正 (B)	3,701	112	55
増減額 (B-A)	△33	+61	+29
増減率	△0.9%	+119.6%	+111.5%

(2) 通期 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	7,860	200	102
今回修正 (B)	7,630	206	107
増減額 (B-A)	△230	+5	+4
増減率	△2.9%	+2.9%	+4.0%

(3) 修正理由

① 中間期 (単独) 業績予想について

売上面では、都市圏での人材派遣売上が大幅に増加し、また、主たる営業エリアである中四国での営業も堅調に推移したことから、会社分割に伴う旅行関連事業の廃止前にあたる前中間期 (平成17年4月1日～平成17年9月30日) とほぼ同水準の業績 (人材サービス関連事業においては19%程度の増収) を収めることができましたが、期初予想の数値にはわずかに届きませんでした。

利益面では、利益率の高い人材紹介売上が計画を上回ったこと、各種施策 (事業譲受け、役員に対する新株予約権の発行、設立20周年記念行事等) にかかる経費が計画を下回ったことや、当該経費の一部について発生時期に計画とのズレが生じたことなどから、期初予想を上回る見込みです。

② 通期（単独）業績予想について

売上面では、事業譲受けに伴って平成 18 年 7 月から本格的に営業を開始した名古屋支店について、事業譲受け時の売上水準（旧フランチャイズ店「クリエ東海」の直営化時点での売上水準）に見合った計画の下方修正を行うなど、主に中間期の実績と期初予想の乖離を反映した業績予想の修正を行いました。

利益面では、上記の売上予想の修正に加え、期初計画で上半期の発生を見込んでいた経費の一部が下半期に発生することなどを勘案して、各項目において微調整を施すに留めました。

(4) ご参考：前期の実績（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
中間期（H17／4～H17／9）	3, 7 0 3	6 3	3 0
通 期（H17／4～H18／3）	7, 0 8 0	1 3 6	8 7

※ 前期の実績（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）には、平成 17 年 10 月 5 日をもって会社分割した旅行関連事業にかかる売上高（中間期：596 百万円、通期：605 百万円）が含まれております。

(注) 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以 上